

ゴールデンウィーク観光動向調査結果

令和2年5月7日(木)
大分県商工観光労働部観光局観光政策課

1 調査期間

令和2年4月29日(水)～5月6日(水)までの8日間
(前年比は、平成31年4月29日(月)～令和元年5月6日(月)と比較して算出)

2 全体の傾向

- (1) 今年のゴールデンウィークにおける県内観光については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの宿泊施設及び観光施設が休業、休館したこと、県民の多くが外出を自粛したことなどにより、宿泊客数は対前年比97.3%減少、観光施設の入場者数は対前年比99.9%減少した。
- (2) 交通機関についても外出の自粛や減便による利用者の減少などが影響し、フェリーにおける上陸者数は前年比で94.6%減少、大分空港では、降客者数が前年比で96.5%減少した。

3 宿泊施設(46施設)

営業:14施設

休業:32施設

調査内容	令和2年	平成31年	対前年比(%)	
			全体	営業施設のみ
宿泊客数(人)	2,037	75,197	▲ 97.3	▲ 90.7

4 観光施設(屋外16施設、屋内14施設)

営業:屋外1施設、屋内0施設

休業:屋外15施設、屋内14施設

調査内容	令和2年	平成31年	対前年比(%)	
			全体	営業施設のみ
入場者数(人)	429	598,573	▲ 99.9	▲ 94.7

5 フェリー(7航路)

調査内容	令和2年	平成31年	対前年比(%)
県内上陸者数(人)	3,457	63,568	▲ 94.6

6 航空会社(大分航空ターミナル調べ)

調査内容	令和2年	平成31年	対前年比(%)
大分空港降客数(人)	874	24,642	▲ 96.5

お問い合わせ先
観光政策課 観光政策班
担当 :長谷部・平山
電話 097-506-2112
FAX 097-506-1729